



## 基本的なデバイス管理

---

この章の内容は、次のとおりです。

- [基本的なデバイス管理について, 1 ページ](#)
- [基本的なデバイス管理のライセンス要件, 2 ページ](#)
- [基本的なデバイス パラメータのデフォルト設定, 3 ページ](#)
- [デバイスのホスト名の変更, 3 ページ](#)
- [MOTD バナーの設定, 4 ページ](#)
- [タイムゾーンの設定, 5 ページ](#)
- [夏時間の設定, 6 ページ](#)
- [デバイス クロックの手動設定, 7 ページ](#)
- [Clock Manager の設定, 8 ページ](#)
- [ユーザの管理, 8 ページ](#)
- [デバイス コンフィギュレーションの確認, 9 ページ](#)
- [基本的なデバイス管理に関する追加情報, 10 ページ](#)

## 基本的なデバイス管理について

ここでは、基本的なデバイス管理の概要について説明します。

### デバイスのホスト名

コマンドプロンプトに表示されるデバイスのホスト名を、デフォルト (`switch`) から別の文字列に変更できます。デバイスに一意的ホスト名を指定すると、コマンドライン インターフェイス (CLI) のプロンプトからデバイスを容易に識別できるようになります。

## Message-of-the-Day バナー

Message-of-The-Day (MOTD) バナーは、デバイスのユーザ ログイン プロンプトの前に表示されます。このメッセージには、デバイスのユーザに表示する情報を含めることができます。

## デバイス クロック

NTP クロック ソースなど、有効な外部のタイミングメカニズムを使用してデバイスの時刻を同期させない場合は、デバイスの起動時にクロックの時刻を手動で設定できます。

## Clock Manager

Cisco NX-OS デバイスには、同期が必要になることがある、異なるタイプのクロックが含まれている可能性があります。これらのクロックはさまざまなコンポーネント（スーパーバイザ、ラインカードプロセッサ、ラインカードなど）の一部であり、それぞれ異なるプロトコルを使用している可能性があります。

Clock Manager は、これらの異なるクロックを同期するための方法を提供します。

## タイムゾーンと夏時間

デバイスのタイムゾーンと夏時間を設定できます。これらの値により、クロックの時刻が協定世界時 (UTC) からオフセットされます。UTC は、国際原子時 (TAI) をベースにしており、うるう秒を定期的に追加することで地球の自転の遅れを補償しています。UTC は、以前はグリニッジ標準時 (GMT) と呼ばれていました。

## ユーザ セッション

デバイス上のアクティブなユーザセッションを表示できます。また、ユーザセッションにメッセージを送信することもできます。ユーザセッションとアカウントの管理の詳細については、『Cisco Nexus 9000 Series NX-OS Security Configuration Guide』を参照してください。

## 基本的なデバイス管理のライセンス要件

次の表に、この機能のライセンス要件を示します。

| 製品          | ライセンス要件   |
|-------------|---|
| Cisco NX-OS | 基本的なデバイス管理にはライセンスは不要です。ライセンスパッケージに含まれていない機能は nx-os イメージにバンドルされており、無料で提供されます。Cisco NX-OS ライセンス方式の詳細については、『Cisco NX-OS Licensing Guide』を参照してください。 |

## 基本的なデバイスパラメータのデフォルト設定

次の表に、基本的なデバイスパラメータのデフォルト設定を示します。

表 1: デフォルトの基本的なデバイスパラメータ

| パラメータ         | デフォルト                    |
|---------------|--------------------------|
| MOTD バナーのテキスト | User Access Verification |
| クロックのタイムゾーン   | UTC                      |

## デバイスのホスト名の変更

コマンドプロンプトに表示されるデバイスのホスト名を、デフォルト (switch) から別の文字列に変更できます。

### 手順

|        | コマンドまたはアクション  | 目的   |
|--------|---|--|
| ステップ 1 | <b>configure terminal</b><br><br>例：<br>switch# configure terminal<br>switch(config)#                                  | グローバルコンフィギュレーションモードを開始します。   |
| ステップ 2 | <b>{hostname   switchname} name</b><br><br>例：<br><b>hostname</b> コマンドの使用：<br>switch(config)# hostname<br>Engineering1 | デバイスのホスト名を変更します。 <i>name</i> 引数には、大文字と小文字を区別して、最大 32 文字の英数字で値を指定します。デフォルトは switch です。<br><br>(注) <b>switchname</b> コマンドは、 <b>hostname</b> コマンドと同じ機能を実行します。 |

|        | コマンドまたはアクション  | 目的  |
|--------|---|---|
|        | Engineering1 (config) #<br><br><b>switchname</b> コマンドの使用 :<br>Engineering1 (config) # switchname<br>Engineering2<br>Engineering2 (config) # |   |
| ステップ 3 | <b>exit</b><br><br>例 :<br>Engineering2 (config) # exit<br>Engineering2#   | グローバルコンフィギュレーションモードを終了します。                        |
| ステップ 4 | <b>copy running-config startup-config</b><br><br>例 :<br>Engineering2# copy running-config<br>startup-config                                 | (任意)<br>実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。 |

## MOTD バナーの設定

ユーザがログインしたときに端末にログインプロンプトの前に表示されるように MOTD を設定できます。MOTD バナーには次の特性があります。

- 1 行当たり最大 80 文字
- 最大 40 行

### 手順

|        | コマンドまたはアクション   | 目的   |
|--------|--|--|
| ステップ 1 | <b>configure terminal</b><br><br>例 :<br>switch# configure terminal<br>switch(config) #   | グローバルコンフィギュレーションモードを開始します。   |
| ステップ 2 | <b>banner motd delimiting-character<br/>message delimiting-character</b><br><br>例 :<br>switch(config) # banner motd<br>#Welcome to the Switch#<br>switch(config) # | MOTD バナーを設定します。 <i>message</i> テキスト内では <i>delimiting-character</i> を使用しないでください。<br><br>(注) デリミタとして "および % は使用しないでください。 |

|        | コマンドまたはアクション   | 目的  |
|--------|--|---|
| ステップ 3 | <b>exit</b><br><br>例：<br>switch(config)# exit<br>switch#   | グローバルコンフィギュレーションモードを終了します。                        |
| ステップ 4 | <b>show banner motd</b><br><br>例：<br>switch# show banner motd  | (任意)<br>設定された MOTD バナーを表示します。                     |
| ステップ 5 | <b>copy running-config startup-config</b><br><br>例：<br>switch# copy running-config<br>startup-config | (任意)<br>実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。 |

## タイムゾーンの設定

デバイスクロックの時刻を UTC からオフセットするようにタイムゾーンを設定できます。

### 手順

|        | コマンドまたはアクション  | 目的  |
|--------|---|---|
| ステップ 1 | <b>configure terminal</b><br><br>例：<br>switch# configure terminal<br>switch(config)#                                    | グローバルコンフィギュレーションモードを開始します。  |
| ステップ 2 | <b>clock timezone zone-name<br/>offset-hours offset-minutes</b><br><br>例：<br>switch(config)# clock timezone<br>EST -5 0 | タイムゾーンを設定します。 <i>zone name</i> 引数は、タイムゾーンの略語を示す 3 文字の文字列 (PST や EST など) です。 <i>offset-hours</i> 引数は UTC からのオフセットであり、その範囲は -23 ~ 23 時間です。 <i>offset-minutes</i> 引数の範囲は 0 ~ 59 分です。 |
| ステップ 3 | <b>exit</b><br><br>例：<br>switch(config)# exit<br>switch#  | グローバルコンフィギュレーションモードを終了します。  |

|        | コマンドまたはアクション   | 目的  |
|--------|--|---|
| ステップ 4 | <b>show clock</b><br><br>例：<br>switch# show clock  | (任意)<br>時刻とタイムゾーンを表示します。                          |
| ステップ 5 | <b>copy running-config startup-config</b><br><br>例：<br>switch# copy running-config<br>startup-config | (任意)<br>実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。 |

## 夏時間の設定

デバイスで夏時間を有効にする時期と、オフセット（分単位）を設定できます。

### 手順

|        | コマンドまたはアクション  | 目的   |
|--------|---|--|
| ステップ 1 | <b>configure terminal</b><br><br>例：<br>switch# configure terminal<br>switch(config)#  | グローバルコンフィギュレーションモードを開始します。   |
| ステップ 2 | <b>clock summer-time zone-name<br/>start-week start-day start-month<br/>start-time end-week end-day<br/>end-month end-time offset-minutes</b><br><br>例：<br>switch(config)# clock<br>summer-time PDT<br>1 Sunday March 02:00 1 Sunday<br>November 02:00 60 | 夏時間を設定します。<br><br><i>zone-name</i> 引数は、タイムゾーンの略語（PST、EST など）である 3 文字のストリングです。<br><br><i>start-day</i> および <i>end-day</i> 引数の値は、 <b>Monday</b> 、 <b>Tuesday</b> 、 <b>Wednesday</b> 、 <b>Thursday</b> 、 <b>Friday</b> 、 <b>Saturday</b> 、および <b>Sunday</b> です。<br><br><i>start-month</i> および <i>end-month</i> 引数の値は、 <b>January</b> 、 <b>February</b> 、 <b>March</b> 、 <b>April</b> 、 <b>May</b> 、 <b>June</b> 、 <b>July</b> 、 <b>August</b> 、 <b>September</b> 、 <b>October</b> 、 <b>November</b> 、および <b>December</b> です。<br><br><i>start-time</i> および <i>end-time</i> 引数の値は、 <i>hh:mm</i> フォーマットです。<br><br><i>offset-minutes</i> 引数の範囲は、0 ～ 1440 分です。 |

|        | コマンドまたはアクション  | 目的   |
|--------|---|--|
| ステップ 3 | <b>exit</b><br><br>例：<br>switch(config)# exit<br>switch#  | グローバル コンフィギュレーション モードを終了します。                       |
| ステップ 4 | <b>show clock detail</b><br><br>例：<br>switch(config)# show clock detail                           | (任意)<br>設定された MOTD バナーを表示します。                      |
| ステップ 5 | <b>copy running-config startup-config</b><br><br>例：<br>switch# copy running-config startup-config | (任意)<br>実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。 |

## デバイス クロックの手動設定

デバイスがリモートの時刻源にアクセスできない場合は、クロックを手動で設定できます。

### はじめる前に

タイムゾーンを設定します。

### 手順

|        | コマンドまたはアクション   | 目的  |
|--------|--|---|
| ステップ 1 | <b>clock set <i>time day month year</i></b><br><br>例：<br>switch# clock set 15:00:00 30<br>May 2013<br>Fri May 30 15:14:00 PDT 2013 | デバイス クロックを設定します。<br><br><i>time</i> 引数の形式は、 <i>hh:mm:ss</i> です。<br><br><i>day</i> 引数の範囲は 1 ~ 31 です。<br><br><i>month</i> 引数の値は、 <b>January</b> 、 <b>February</b> 、 <b>March</b> 、 <b>April</b> 、 <b>May</b> 、 <b>June</b> 、 <b>July</b> 、 <b>August</b> 、 <b>September</b> 、 <b>October</b> 、 <b>November</b> 、および <b>December</b> です。<br><br><i>year</i> 引数の範囲は 2000 ~ 2030 です。 |
| ステップ 2 | <b>show clock</b><br><br>例：<br>switch(config)# show clock  | (任意)<br>現在のクロック値を表示します。   |

## 関連トピック

[タイムゾーンの設定, \(5 ページ\)](#)

## Clock Manager の設定

Cisco Nexus デバイスのコンポーネントのすべてのクロックを同期するように、Clock Manager を設定できます。

## 手順

|        | コマンドまたはアクション   | 目的  |
|--------|--|---|
| ステップ 1 | <b>clock protocol <i>protocol</i></b><br><br>例：<br><pre>switch# clock protocol ntp</pre> | Clock Manager を設定します。<br><br><i>protocol</i> 引数の値は、 <b>ntp</b> 、および <b>none</b> です。<br><br>次に、値について説明します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>ntp</b> : ネットワーク タイム プロトコル (NTP) を使用してクロックを同期させます。</li> <li>• <b>none</b> : <b>clock set HH:MM:SS</b> を使用して、スーパーバイザクロックを設定します。</li> </ul> (注) <b>none</b> が使用されている場合、クロックが設定されている必要があります。<br>(注) プロトコルが設定されたら、クロックはそのプロトコルを使用する必要があります。 |
| ステップ 2 | <b>show run clock_manager</b><br><br>例：<br><pre>switch# show run clock_manager</pre>     | (任意)<br>Clock Manager の設定を表示します。  |

## ユーザの管理

デバイスにログインしているユーザに関する情報を表示し、これらのユーザにメッセージを送信できます。

## ユーザセッションに関する情報の表示

デバイス上のユーザセッションに関する情報を表示できます。



## 手順

|        | コマンドまたはアクション                                      | 目的              |
|--------|---|-----------------|
| ステップ 1 | <b>show users</b><br><br>例：<br>switch# show users | ユーザセッションを表示します。 |

## ユーザへのメッセージ送信

デバイスの CLI を現在使用しているアクティブなユーザに、メッセージを送信できます。

## 手順

|        | コマンドまたはアクション   | 目的  |
|--------|--|---|
| ステップ 1 | <b>show users</b><br><br>例：<br>switch# show users  | (任意)<br>アクティブなユーザセッションを表示します。   |
| ステップ 2 | <b>send [session line] message-text</b><br><br>例：<br>switch# send Reloading the<br>device is 10 minutes! | アクティブなユーザすべて、または特定のユーザにメッセージを送信します。メッセージは最大 80 文字の英数字で、大文字と小文字を区別します。 |

## デバイス コンフィギュレーションの確認

POAP を使用してデバイスのブートストラップ後の設定を確認するには、次のコマンドのいずれかを使用します。

| コマンド                       | 目的                        |
|----------------------------|---------------------------|
| <b>show running-config</b> | 実行コンフィギュレーションを表示します。      |
| <b>show startup-config</b> | スタートアップコンフィギュレーションを表示します。 |

## 基本的なデバイス管理に関する追加情報

基本的なデバイス管理に関連したその他の情報を見つけることができます。

### 基本的なデバイス管理の関連資料

| 関連項目  | 参照先                           |
|-------|-------------------------------|
| ライセンス | 『Cisco NX-OS Licensing Guide』 |